

横手市議会だより

3月定例会

あなたと市議会



「馬」

平成高等学校3年 ^{さ さ き}佐々木 ^{い お り}伊織さん



「炭酸」

平成高等学校3年 ^{さ と う}佐藤 ^{れ い}滯さん

主な内容

定例会ピックアップ……………	2
委員会審査報告……………	5
令和7年度予算審査報告……………	6
予算決算委員会総括質疑……………	9
会派代表質問・一般質問……………	10
ぎかいトピックス・先進地から学ぶ……………	15

作品のこだわりポイント！

- ◆ 佐々木 伊織「馬」
背景を一色にすることで相対的に馬の色の情報量を増やし、より馬に注目が集まるように描きました。迫力が一目で伝わるように意識しました。
- ◆ 佐藤 滯「炭酸」
炭酸と単三電池をかけた爽やかな絵をイメージしました。寒色を混ぜ淡くはじけるような色を意識しているので、見た人の心がシュワッと軽くなるといいなと思います。

よこて市民応援商品券の 速やかな配布を求める 附帯決議案を可決

議案第1号 議案第49号「令和7年度横手市一般会計補正予算(第1号)」に対する附帯決議

当局からは、「よこて市民応援商品券事業について物価高騰対策として国の地方創生臨時交付金事業を活用し、市内全世帯に対し商品券を配布するというものだが、商品券の印刷などに時間を要するため、全世帯に届くのは令和7年7月頃を予定している」との説明がありました。

定例会最終日、土田百合子議員ほか5名より、この事業について、速やかに配布するため特段の努力を求める附帯決議案が提出されました。

決議案提出議員からは、「現在の急激な物価高騰は、既に市民生活に多大な影響を及ぼしている。一刻も早い支援が必要であり、速やかに対象世帯に配布するため、特段の努力を求める」との説明がありました。

採決の結果、起立多数で可決されました。



令和4年度に配布された
よこて市民応援商品券

提案の背景は

委員会では意見交換を実施し、附帯決議の提出へ

総務文教常任委員会では、審査を休憩し、委員間で活発な意見交換を行いました。意見交換の結果、物価高騰に苦しむ市民の皆様へ少しでも早く商品券を配布することを求める附帯決議案を提出することとなりました。

附帯決議ってなに?

附帯決議とは、議
会または委員会にお
ける審議事件(議案や予算案等)
の議決にあたって、事業を執行す
るうえでの要望や意見を述べる
ための決議をいうんだ。決議は議
員が発案して本会議で審査する
んだよ。

附帯決議に法的拘束力はない
けど、議会から市長等にこれを尊
重するよう求めるものなんだ。



解説

「よこて市民応援商品券事業」

令和6年度に臨時特別給付金が
支給された住民税非課税世帯を除
く、市内の全世帯に対し、物価高
騰の負担軽減を目的に商品券(一
人あたり3000円)を配布する
事業のこと。



よこて市民応援商品券
事業以外の
物価高騰対策の内訳

●公立病院物価高騰対策事業

県の補助対象外となっている
市立横手病院と市立大森病院に
対して、燃料費等及び食料費の
高騰分の一部を助成する。

●農業経営継続支援事業

燃料や光熱費等の高騰の影響
を受けている施設園芸農業者等
に対し、かかり増ししている経
費の一部を助成する。

●飼料高騰対策事業

飼料価格高騰の影響を受けて
いる畜産農家に対し、飼料費の
一部を助成する。

議案や附帯決議の全文は
こちらから
ご覧いただけます。



3月定例会は2月18日から3月19日
までの日程で開催されました。
審議した案件の中から、特に注目す
る内容について取り上げます。

議案に対する議論が白熱し 条例改正案3件が否決される

議案第2号 横手市民会館施設 整備基金条例

議案第2号は、横手市民会館建設のために基金を創設し、市民の皆様に分かりやすく示し、将来に備えていくための条例案でした。

本会議では、反対討論が行われましたが、起立採決の結果、起立多数により可決されました。

討論

反対

齋藤光司議員より、「市民会館の建設が、人口減少にどのように歯止めをかけ、利用者数を増やしていくのか説明がなく、より良いものを建設するためにも議論を重ねる必要があると判断し、反対する」との討論がありました。



新市民会館の完成イメージ

議案第14号 横手市大森町高齢者生活支援ハウス設置条例の一部を改正する条例

議案第14号は、近年の物価高騰を受け、光熱水費の実費と負担金に大きく乖離が生じているとして、大森地域にある高齢者生活支援ハウス施設の光熱水費を値上げするという条例改正案でした。

討論

賛成

菅原恵悦議員より、「建設から20年が経過し、現在の物価高騰は施設に顕著な影響があり、施設を長く継続させるために必要な条例改正であると思い、賛成する」との討論がありました。

議案第11号 横手市平鹿ときめき交流センター「ゆっぷる」設置条例の一部を改正する条例

議案第16号 横手市大森林業者等休養福祉施設設置条例等の一部を改正する等の条例

議案第11号はゆっぷる、議案第16号はさくら荘の両公共温泉施設をそれぞれ指定管理できるようにするための条例改正案でした。

本会議では、賛成討論が行われましたが、起立採決の結果、起立少数により否決されました。

討論

賛成

大日向香輝議員より、「本条例改正を否定することは、市議会自らが温泉サービス継続の可能性を閉ざしてしまうことになりかねないと危惧し、賛成する」との討論がありました。



ゆっぷるとさくら荘

解説

指定管理者制度

指定管理者制度とは、民間企業やNPO法人などの団体が、市に代わって公共施設の管理運営を行う仕組みのこと。民間企業が効率的・効果的な運営を行うことにより、市民サービスの向上とコスト削減を図ることを目的としている。



賛否が分かれた議案と審議結果

・全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。 ○：賛成 ●：反対
※小野正伸議長は採決に加わりません。 ※議案第14号は議長裁決により否決になりました。

案件名 会派・議員名		議案 第2号	議案 第3号	議案 第11号	議案 第14号	議案 第15号	議案 第16号	議案 第18号	議案 第29号	議案 第39号	議案 第49号
		横手市民会館施設整備基金条例	横手市立体育館設置条例	横手市平鹿ときめき交流センター「ゆっぴる」設置条例の一部を改正する条例	横手市大森町高齢者生活支援ハウス設置条例の一部を改正する条例	横手市立自然公園設置条例の一部を改正する条例	横手市大森林業者等休養福祉施設設置条例等の一部を改正する等の条例	横手市都市公園条例の一部を改正する条例	令和6年度横手市一般会計補正予算（第12号）	令和7年度横手市一般会計予算	議案第49号「令和7年度横手市一般会計補正予算（第1号）」に対する附帯決議
議決結果		原案可決	原案可決	否決	否決	原案可決	否決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決
表決数	賛成	14	22	4	12	22	4	21	22	18	16
	反対	10	2	20	12	2	20	3	2	5	7
市民の会	宮川 拓也	●	○	●	○	○	●	○	○	●	●
	福田 誠	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●
	大日向香輝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅原 正志	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●
	齋藤 光司	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●
	菅原 恵悦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
さきがけ	青山 豊	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○
	佐藤 誠洋	●	○	●	●	○	●	○	●	●	○
	寿松木 孝	●	○	●	●	○	●	○	●	●	○
	播磨 博一	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○
	塩田 勉	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○
新政会	高橋 聖悟	●	○	●	●	○	●	●	○	○	退席
	柴田 忍	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●
	佐藤 忠久	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●
	小野 正伸	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	高橋 和樹	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
創成の会	林 一輝	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○
	本間 利博	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○
	加藤 勝義	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○
日本共産党	鈴木 勝雄	●	●	●	●	●	●	●	○	退席	○
	立身万千子	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○
公明党	土田百合子	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	井上 忠征	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
新風の会	木村 清貴	●	○	●	●	○	●	○	○	●	○
実横会	加藤 雄太	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○

1月臨時会の概要

物価高騰に対する支援事業として、低所得者を対象としたあったか灯油助成事業や住民税非課税世帯への給付金給付事業のほか、障害者支援施設や介護保険施設の光熱費及び食材料費の負担軽減のための補助事業、また除雪費に関する補正予算等を審査し、いずれも可決しました。



本会議の様子は、
横手市議会ホームページから
ご確認いただけます。

厚生常任委員会



**大森町高齢者生活支援ハウス
入居者負担金見直しの内容は？**

◆横手市大森町高齢者生活支援ハウス設置条例の一部を改正する条例

問 利用者は冬期間の生活に困っている方々で施設を利用する以外に選択肢がないと思われる。行政側の都合で現入居者に説明がないまま条例改正することは性急ではないか。

答 入居者負担金は開設以来見直しをしていない。物価高騰を受け光熱水費の実費と負担金に大きく開きが生じており、過去一年間の光熱水費の実績をもとに改定額を算定した。来期の入居申請時に丁寧に説明していく。

討論

反対

「一般財源から少し削るという形で経過措置を取り、説明を生懸命に行うべき」

賛成

「物価高騰は入居者以外にも同じ境遇であり、どこかで決断しなければならぬ」



起立採決の結果、起立少数により否決すべきものと決定しました。



高齢者生活支援ハウスで過ごす利用者

産業建設常任委員会



**公共温泉2施設の条例改正案の
妥当性は？**

◆横手市平鹿ときめき交流センター「ゆっぴる」設置条例の一部を改正する条例

◆横手市大森林業者等休養福祉施設設置条例等の一部を改正する等の条例（さくら荘）

問 ゆっぴるとさくら荘に指定管理者制度を導入するという条例改正だが、制度導入のメリットと移行する理由は。

答 民間のノウハウを活用し経費削減とサービス向上を目指す。ゆっぴるについては制度導入により、休業中の食堂を再開できればと考えている。

◆横手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 報酬について、これまでクマ等捕獲許可1回につき3千円だったものが年額5千円になる。隊員は納得しているのか。

答 市からの年額報酬に加え、内容に応じて鳥獣被害対策協議会から活動経費が支払われる。変更は事前に猟友会と協議し、納得いただいている。



公共温泉施設の将来は

総務文教常任委員会



**横手市民会館施設整備基金条例の
在り方は？**

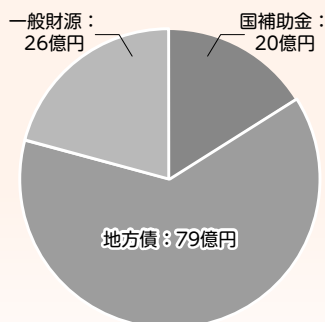
◆横手市民会館施設整備基金条例

問 基金については、毎年2億円、10年間で20億円を積み立てるというものだが、この算定根拠を問う。

答 事業費を125億円と考えた場合、国の補助金が約20億円、地方債は約79億円、一般財源は約26億円を見込んでいる。先に令和4年から6年度まで約5.4億円を事業費として充てているので、差し引き約21億円となり、一つの目安として20億円と試算している。なお、実質収支の約10%の積立としており、財政状況によっては積み増しも可能である。

問 実質収支を多く出せば、基金額も増やせるが、市民サービスが行き届いていないことになるのではないか。

答 実質収支が多くなるような財政運営は基本的にすべきではないと考えている。



新横手市民会館
事業費125億円の内訳

厚生常任委員会

市民の福祉と健康を守る政策を

◆横手市一般会計予算

Check!
ひきこもり支援センターの支援内容は？

問 各地域局に相談窓口があるが、ひきこもり支援センターが設置されることで現状からどのように変わるのか。

答 ひきこもり支援センターは、まると福祉課内に設置するもので既存の支援機関との連携や調整が主な役割と想定し、ステップを踏んで社会復帰につなげていくことを目指している。Y²ぷらざに設置する支援窓口については20代くらいまでの若者を想定しており、ひきこもりが長期化しないように早めの対応ができればと考えている。

Check!
マイナンバーカード取得の現状と方策について

問 マイナンバーカードの取得について、子どもや高齢者の取得率をどのように伸ばしていくのか。

答 未取得者のうち高齢者は施設入所が多いと考えており、施設との連携や相談体制を構築し、取得につなげていきたい。10代20代の取得率は80%を超えている。また、出生届と同時に申請ができるようになっていく。

Check!
参加者が少なくなっている敬老事業について今後の見直しは

問 令和6年度の参加率が10%となっている。参加者が多ければ続けていく必要性を感じるが、担い手の都合で実施が左右される仕組みは公平ではないと思うが、どのように考えているか。

答 利用希望者がいても実施する担い手がいないと参加する機会が得られないため、地域で取組の差が出る不公平な状態があることは認識している。一方で利用者からは好意的な声もあり、地域の再構築につながっている面もあると感じている。制度変更以降、町内会以外の同好会や婦人会の主催事業に活用されているほか、記念品配付のみも可能となっている。様々な活動に使えることはプラスの面もあると考えている。

討論

賛成

「市独自の医療や福祉、環境の政策を打ち出し、市民に寄り添っていく姿勢が見られる。動き出せば具体的な課題が様々出てくると思うが、これらの政策を進めていくことを期待し賛成する」



起立採決の結果、出席者起立全員により可決すべきものとして決定しました。



病気の予防や健康寿命の延伸に効果が期待できる人間ドック費用の助成事業の周知方法は

問 人間ドック・脳ドック費用助成について、事業の目的からすればもっと知ってもらいたいと思うが、どのように周知しているのか。

答 保険証更新時にチラシを同封しているほか国保だよりやホームページでお知らせしているが、そのほかの周知方法も検討していきたい。



人間ドックの利用率向上が求められる

厚生常任委員

本間 利博
立身万千子
寿松木 孝
宮川 拓也
井上 忠征
播磨 博一
菅原 惠悦
佐藤 忠久

産業建設常任委員会

鶴ヶ池荘の 今後の方向性は

◆横手市一般会計予算

Check! 鶴ヶ池荘の将来はどうなるのか

問 鶴ヶ池荘を解体して、跡地に新たな日帰り温泉施設を建設する方針とのことだが、唐突な提案ではないか。

答 改修費用が予想を超える高額となることが判明した。そのため改修せずに一旦解体し、日帰り温泉に特化した施設を建設していくために提案した。



老朽化が進む鶴ヶ池荘

問 令和4年に公共温泉の市民アンケートを行ったときは全く状況が変わってきている。ゆとりおん大雄を含め、市の公共温泉の在り方を今一度整理すべきではないか。

答 令和6年度の当初予算審議において鶴ヶ池荘に関する予算修正案が提出された。温泉入浴サービスによる日帰り機能に特化し、今後長く地域に愛される施設として建設したほうが良いという趣旨説明であった。修正案は、議

員24名中21名が賛同し可決され、令和6年度予算はこれを受けて執行しており、今回の提案に至ったものである。

Check! 横手の雪まつりを盛り上げていくのに必要なことは

問 観光誘客推進事業について、外国人旅行者への対応はどうするのか。

答 通訳案内士や通訳ボランティアによるおもてなし体制を整備することに加え、スマートフォンを使って意思疎通できる体制を研究し、実践していきたい。

問 横手の雪まつりについて、土日開催を検討してはどうか。

答 誘客推進対策として曜日変更は有効と考えており、民間の多くの方々から同様のご意見を多数いただいたている。これは後世に残る変更になることから、歴史文化の面からもしっかり検証しながら関係者と協議していきたい。



多くの観光客で賑わった雪まつり

Check! 除雪に係る人材は確保できているか

問 除雪作業を市が直営で行っていく場合、重機を購入し維持していかねければならない。将来的には民間に委託するつもりなのか。

答 6年度は直営48%、委託が52%で約半々の状況である。直営の雇用人数は、現段階ではほぼ充足している。しかし、職員の高齢化、除雪技術の継承を考えると、民間委託に徐々にシフトしていかざるを得ないところもある。ただし、コスト面も検討する必要がある。今現在方向性は決めていない。

討論

反対

「公共温泉の在り方については、改めて人口ビジョンの推移や財政見通しを踏まえて検討するべきだ。性急すぎる解体工事に係る実施設計の予算計上は禍根を残すことになるため反対する」

可

採決の結果、出席者起立多数により原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

産業建設常任委員

菅原 正志
柴田 忍
加藤 雄太
鈴木 勝雄
林 一輝
佐藤 誠洋
齋藤 光司
高橋 和樹

総務文教常任委員会

「よこて市民応援商品券」は 早期に配布を

◆横手市一般会計予算

Check! 大森庁舎・大雄庁舎の改修計画は

問 両庁舎は非常に老朽化している。大森庁舎は浸水区域に位置し、大雨などにより行政機能が失われる可能性があるが、改修計画を作成する予定はあるか。

答 令和7年度には横手市財産経営推進計画（FM計画）の見直しが予定されており、その中で建物の老朽度調査を実施し検討していくこととなる。まずは、職員で検討し地域住民とも協議を進めていく。

Check! 若者出合い応援事業の予算の減額はなぜか

問 若者出合い応援事業については、賛否両論ありながら肝いりで行った施策である。6年度と比較して800万円の減額予算となっているがなぜか。

答 インターネットマッチングサービスについては、当初200名の想定に対し、14名の利用で、交際応援への助成事業は、当初200組の想定に対し、32組という状況で、実績に基づき減額している。今後、周知がどこまで行き届いているかを含め、令和7年度以降の対応を検討したい。

Check! 防災訓練における防災士との連携は

問 市内の防災士が一堂に会しての打ち合わせする機会をつくりたいのとこのだが、具体的な計画は。

答 防災士の方には各地域の防災訓練や市主催の総合防災訓練に参加いただき、冬季防災訓練では研修のファシリテーター役を担っていただいている。令和7年度は秋田地方気象台の出前講座を活用して参加を呼びかけ、研修を行いたいと考えている。

可 起立採決の結果、起立多数により可決すべきものとして決定しました。



冬季防災訓練の様子
(大雄地域)

◆横手市一般会計補正予算（第1号）

Check! 「よこて市民応援商品券」の市民への配布はいつ頃になるのか

問 よこて市民応援商品券事業のスケジュールはどのようになっているか。

答 この事業は、横手商工会議所とよ

こて市商工会で構成する実行委員会を進める。令和4年度に同様の事業を実施した際に、商品券に偽造防止の加工をする関係で納入自体に2カ月以上かかった経緯がある。予算が確定しない現段階では協議を詰め切れていないが、6月中旬に順次発送できると考えている。遅くとも7月までには全世帯に届けたい。

討論

賛成

「現在多数の生活必需品などの値段が上昇しており、多くの市民が困っている状況である。市民に寄り添ってこの商品券を配布することはとても有効なことだと考える。早期の配布ができるように一層の努力をお願いしたい」

可

起立採決の結果、起立全員により可決すべきものとして決定しました。

よこて市民応援商品券事業については、附帯決議案が提出されました。詳しくは2ページをご覧ください。

総務文教常任委員

子輝 貴誠 豊悟 義勉
百香 清 聖勝
土田 日向 木村 福田 青山 高橋 加藤 塩田

「定住」の視点において労働費は重要だ

青山 豊 委員

あおやま ゆたか



問 5款労働費は当初予算1億1247万円と全体の0.2%に過ぎないが、若者の地元定着、人材育成を含めた「定住」の視点で重要な位置付けと考える。市ではどのように捉えているか。

答 非常に重要と考えている。そのため「第2次総合計画」の重点目標及び「第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目指す姿に「働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち」と掲げ、若者の地元定着を図るため、地元企業の魅力発信を強化するとともに、多様な職場の確保に向けた企業誘致にも取り組んでいる。

問 採用活動を支援し、地元経済の発展と雇用の確保を図る「採用活動応援事業」90万円が当初予算に計上されている。その中には、インターンシップに要する負担経費が含まれており、その内容は

4社合計40万円ということだが、4社という数字の根拠が不明確だ。

答 過去の「インターンシップ参加学生サポート補助金」の実績から対象学生16人、対象企業4社と想定している。

問 分科会質疑で、この事業について「スモールスタートだ」と答弁された。労働費は重要な位置付けと考えるが、その理由は。

答 過去の実績からの積算である。

● **その他の質問**
ものづくり企業への新卒人材供給の今後の見通しと戦略は

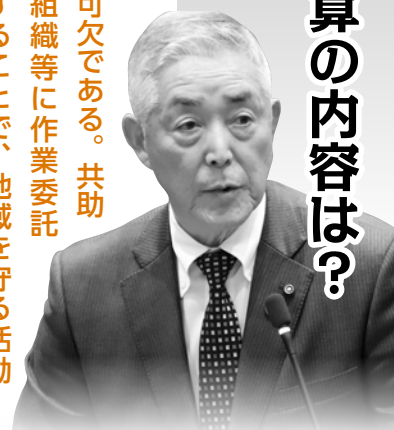


春の大卒等合同企業説明会 in よこて

重要施策クマ対策予算の内容は？

本間 利博 委員

ほんま としひろ



問 有害鳥獣対策事業予算は鳥獣被害対策実施隊員の年額報酬や捕獲活動費、センサーカメラ購入等に充てられるようだが、山から人里に出没するクマをいち早く検知することが重要と考える。現在人はクマを発見した際に通報しているが、検知・通知システムを充実することで早い段階での発見が期待できる。そのために積極的にデジタル機器設置の充実を図る必要があると考えるがどうか。

答 実施隊員による民の見回り作業の負担軽減を図るために、センサーカメラから携帯電話に通報するシステムを試験導入することとしており、効果検証を行いながら本格導入を検討していく。

問 水と緑の森づくり事業の緩衝帯整備事業は、人の生活圏とクマの生息域を分けるために有効な取組とされている。緩衝帯の整備には、地区の方々の理解と協力が不

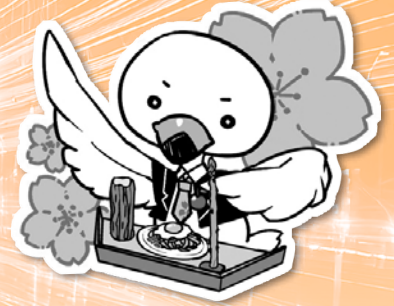
可欠である。共助組織等に作業委託することで、地域を守る活動につながるかと考えるがどうか。

答 緩衝帯整備事業については県の補助事業で、7年度は過去に出没事例があり、公共性の高い区域3カ所への整備を予定している。一方で、事業には専門性が求められるっており、現時点では共助組織への委託を考えていないが、今後共助組織や地区交流センターと情報交換しながら活動の支援について検討していく。



クマの注意喚起チラシ (秋田県自然保護課作成)

ココが聞きたい！ 8名の議員が市政を問う



2月28日に会派代表質問が、3月3日～4日に一般質問が行われ、8名の議員が市長の施政方針や教育長の教育行政方針、そのほか市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

会派代表質問・一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらFMで生放送するほか、市議会ホームページで全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

二次元コードを読み取ると、動画をご覧いただけます。



会派代表質問

- ◆ 市民の会 菅原 正志 議員 … 力強く継続的な薬剤助成で果樹産地維持を
- ◆ さきがけ 塩田 勉 議員 … 市の財政運営に問題はないか
- ◆ 創成の会 加藤 勝義 議員 … 新市民会館計画の規模縮小と副拠点への建設を
- ◆ 公明党 土田百合子 議員 … 「子ども権利条例制定」で少子化対策を

一般質問

- ◆ 佐藤 誠洋 議員 … 除排雪体制の一層の充実を！
- ◆ 立身万千子 議員 … 市民が充実できる産業振興の支援体制を
- ◆ 加藤 雄太 議員 … 水道料金値上げ幅を可能な限り抑える努力を！
- ◆ 福田 誠 議員 … 新横手体育館開館準備事業の進捗は

問 果樹の産地維持のため継続的な薬剤助成が必要ではないか。

答 災害復旧から生産振興へと重点を移して支援する。薬剤補助率は15%から10%になるが、農機具導入、腐らん病対策のひとつである放任園の解消、中山間地における樹園地の流動化等に取り組む。

●市役所の組織運営について

問 令和6年度の事務ミス・不祥事を振り返っての検証と対策は。職員の皆さんには、誇りをもってその任にあたってもらいたいと思う。

答 改めて市民の皆様にお詫び申し上げる。全ての職員が当事者意識をもって受け止め、改善・改革を図り続ける。誰のために働いているのかを決して忘れることなく、信頼回復に全力で努める。

●市営温泉の方向性について

力強く継続的な薬剤助成で果樹産地維持を

市民の会

菅原 正志 議員

すがわら ただし



問 多額の費用が見込まれる鶴ヶ池荘の解体・新設は再検討するべきではないか。

答 鶴ヶ池荘を解体し、日帰り機能に特化した新たな施設を建設する方向で進めたい。

問 大森健康温泉施設活用の報道を受けて、市の考えを伺う。

答 公募期間終了後に申し出があり、老朽化やシロアリ被害から、廃止手続を進めたところだ。

問 ゆとりおん大雄の存続は住民要望である。存続させることは考えられないか。

答 住民の思いや陳情採択を重く受け止めつつも方針は変わらない。

問 令和5年度の経常収支比率は96・8%と非常に高く、市は緊縮財政そのものの状況にあるが、どのように捉えているか伺う。

答 経常収支比率は、最近は上昇傾向であり、その要因は物価高騰の影響による人件費等の上昇や公債費の一時的な上昇が考えられる。

今後も経費削減や自主財源の確保などにより比率の改善を図り、持続可能な財政運営を図っていく。

問 市民会館整備基金により毎年約2億円、総額20億円を積み立てたいとのことだが、昨年新市民会館建設工事の入札は不落となっている。新市民会館建設についてはじっくり進めるべきではないか。

答 横手市民会館施設整備基金設置条例は、市民会館建設に対する強い意志表示の面もある。国の動

市の財政運営に問題はないか

さがけ

塩田 勉 議員

しおた つとむ



向などを見ながら、財源が確保できれば建設したいと考えている。

●雄物川流域の防災対策について

問 成瀬ダムと皆瀬ダムで同時に放流されれば、雄物川流域でも急激に水位が上昇するおそれがある。ダム放流警報の設置をお願いする。

答 ダム放流と下流河川のピークが重ならないよう今後もダム管理者との連絡を密にしてい

■その他の質問

- 市債償還について
- 消火栓の整備について
- 観音寺鐘楼、正平寺山門・経蔵、雄勝城、沼柵の教育及び観光への活用について

問 新市民会館計画は財源調達も困難となり、現在は一時中止となっている。財政状況や人口動態を踏まえて規模縮小し、身の丈に合った計画とし、再度ゼロベースで検討する考えはないか。

答 令和2年度の基本構想以来、長く議論してきた。今後事業再開する際も、現在のコンセプトや計画を基本としていく。

問 予定されていた100億円の工事が物価高騰等により、125億円となったとしているが、機能を市民活動中心のコンセプトに代え、規模縮小しない限り進まない。急減する出生数や人口減で、5人に1人が後期高齢者、3人に1人が高齢者となり、現役世代に負担がかかっていく。適正な財政運営も求められているがどうか。

答 衰退していく地域を維持していきたい思いで、この規模は変えない。

新市民会館計画の規模縮小と副拠点への建設を

創成の会

加藤 勝義 議員

かとう かつよし



●副拠点（十文字地域）について

問 副拠点としている十文字駅や旧第一小学校、解体した文化センター周辺の計画が進んでいない。広範囲の面積であり、市の南の玄関口として、インターチェンジや駅、道の駅、図書館などもありアクセスも良く、生涯学習活動も盛んなこの副拠点に、規模縮小した新市民会館を建設できないか。

答 先進的なご意見をいただいたと受け止める。将来に希望が持てる基本構想を策定していく。

問 「子ども権利条例制定」の考えと今後の取組について伺う。

答 こども施策の基本理念や基本となる事項については、こども基本法において「こどもまんなか社会」を推進すべき理念が明記されているため、当市は、あえて条例化する必要はないと考える。「横手市子ども権利宣言」は令和7年度に第3次横手市総合計画や、横手市こども計画の策定とあわせ、若者が社会的に幸せな状態で生活を送ることができる理念となるよう準備を進めていく。

問 産後ケアの拡充には、出産前から出産後におけるトータルプランの作成が必要。安心して産み、育てられる環境整備の考えは。

答 横手市独自の産後ファミリー応援事業を実施し、7年度からはこれまで1歳だった対象年齢を2歳までに拡充し、自

「子ども権利条例制定」で少子化対策を

公明党

土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ



宅での家事援助をさらに受けやすくしていく。

問 「こども誰でも通園制度」実施の考えを伺う。

答 こども誰でも通園制度は、保護者の就労状況や理由を問わず、未就園児が保育施設等において時間単位で利用できる制度であり、令和8年度から、子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として、実施予定である。

■その他の質問

- 病児・病後児保育の拡充を
- 出産祝金の拡充の考えは
- 男性の産後つつの周知について

佐藤 誠洋議員
さとう まさひろ

さとう まさひろ



除排雪体制の 一層の充実を！



問 除雪対策を幅広く実施している大仙市を参考として、間口除雪サービスを一層強化してはどうか。

答 既存事業の周知拡大を図るとともに、他自治体、市民要望を参考に取り組みたい。

問 除雪サービスの供給体制確保のため、北海道江別市等の事例を参考として、協同事業組合化や公社化を検討すべきではないか。

答 情報収集のうえ検討する。

問 除排雪費は、当初予算から平均決算ベースの20〜25億円は計上すべきではないか。また、インセンティブ予算の導入や雪対策基金の創設を提案する。

答 必要最低限の経費を当初予算に計上している。市民生活へ影響が生じないようにする。

●横手市の産業振興政策について
問 令和3年度の住民一人当たりの個人所得は、全国平均を100

とした場合、横手市は61、大仙市は62、花巻市は70、北上市は86、岐阜県高山市は81である。市民所得の向上のため、産業連関表などの経済分析を行い、戦略ビジョンを立てて、官民一体で市民所得向上に努めるべきではないか。また、特化指数（強み）の高い農林業への予算配分を高めて、市経済への好循環を図るべきではないか。

答 産業連関表は非常に有効なものと認識しているが、現在は地域経済分析のみを行っている。各産業へバランスよく応援していく。



官民一体の産業ビジョン
⇒【市民】所得をUP!!

立身 万千子議員
たちみ まちこ

たちみ まちこ



市民が充実できる 産業振興の支援体制を



問 採用活動応援事業の補助内容について問う。

答 人手不足で活動の制約を受けている中小企業が対象。学生のインターンシップ等に要する企業負担経費などへの補助を行うもの。

問 若年者等人財育成、地元定着支援事業の内容について、特に働く人々の住まいの支援を求める。

答 就職情報統合ポータルサイト「ジョブナビ」の構築と前述の採用活動応援事業を展開する。社員住宅の整備は各企業の福利厚生の一環であり、補助は考えていない。

問 「よこてWARP」の継続にあたっての課題は何か。

答 現在片道300円で運行しているが、利用者からは料金引上げの回答が多い。今後価格改定の予定。

●ひきこもり対策について
問 まるごと福祉課と子育て支援課、更に他部署との連携を求める。



オンデマンド空港送迎サービス事業
(通称「よこてWARP」)

答 実態調査により当事者の年齢で支援や目指す姿が異なっており、年齢層に合わせた施策を実施する。また、複数の支援機関が連携する重層的支援体制を整備していく。

●市営温泉について
問 ゆとりおん大雄の存続を再度求める。

答 施設存続の陳情の議会採択を重く受け止め、再度検討したが、予定どおり廃止したい。

■その他の質問
●マイナンバーカードの健康保険証利用について

加藤 雄太議員

かとう ゆうた



水道料金値上げ幅を 可能な限り抑える努力を！



問 令和6年に改定された横手市水道事業計画・経営戦略において、水道料金の見直し時期を令和8年度にするとの記載があるが、現在の方向性はどうか。

答 こちらの計画期間である15年間の収益的収支を均衡させるため、平均29%の料金改定が必要であると試算している。

問 水道料金の改定が避けられない状況の中で、料金収入から不足する財源を一般会計からの繰出金で補うことはできないか。

答 現在様々な課題を抱える中、水道料金のみですべての費用を賄っていくことは厳しい状況であると承知しているが、公営企業の独立採算制の原則を基本として慎重に議論すべきと考える。

問 以前行政視察で訪れた佐世保市では、平成22年に水道料金の改定が行われており、当初約30%増

の改定が行われる予定であったが、一般会計からの繰出しを行うことにより約20%まで値上げ幅を抑制した実績がある。市民の方々の負担に直結する水道料金に対し、少しでもその負担を軽減する姿勢を見せるべきだと考えるがどうか。

答 昨今の社会情勢の中で、経営改革を行ってもなお収支が不足するというような状況があることは理解している。水道部局と財務部局とでしっかりとした議論を行ったうえで、議員や市民の皆様にも提示して協議していきたい。



安全・安心で持続可能な
水道水の供給を

福田 誠議員

ふくだ まこと



新横手体育館開館 準備事業の進捗は



問 新体育館の管理運営を担う指定管理者の選定の方向性は。

答 新体育館の管理運営については、公募により指定管理者を選定し、管理運営業務に加え、スポーツによるまちづくりの推進に対しても、積極的に参画をいただきたいと考えている。

問 開館準備業務について伺う。

答 令和8年7月に予定するグラウンドオープンにむけて、現在、市が実施している準備業務について、指定管理者が決定後、協働で進めていく。

問 新体育館開館に際してのオープニングイベントの企画・準備状況はどうか。

答 オープニングセレモニーや市民による体験会、開館記念イベント等を含め、様々な検討を進めている。

●教育行政について

問 学校における一人一台タブレット端末の更新と活用方法についての考え方は。

答 令和7年度いっぱいでの更新を計画している。端末を活用して家庭で学習を日常的に行うことは、自立した学習者を育成するうえでも必要なことと考えている。

問 部活動の地域移行の進捗状況を伺う。

答 令和7年度は、当市のスポーツ団体や文化芸術団体の関係者などによる横手市部活動地域移行推進協議会を設置し、協議していく。



新横手体育館の
完成イメージ

高校生議会だより モニター会議

1月23日、議会だよりモニターとして登録いただいている雄物川高校生徒会の皆さんにご参加いただき、高校生議会だよりモニター会議を開催しました。

モニターの皆さんからは、特に若い世代が関心を持つようなアイデアをいただきました。



箇条書きにしては
どうかな？

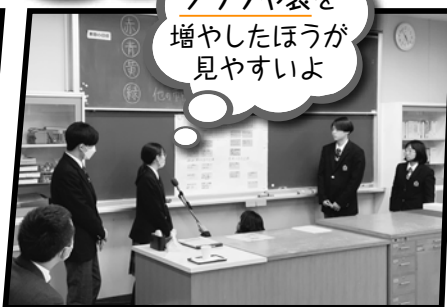


伝えたい箇所に
アンダーラインを
引いたらどうだろう？

写真やイラストを
増やしてはどう？



委員会審査報告は
項目ごとに分け
された方が
見やすくなるかな



グラフや表を
増やしたほうが
見やすいよ



会派代表質問、
総括質疑、一般質問と
違いがよく
分からない...

高校生議会だよりモニター会議の様子は、2月10日の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



議会改革推進会議

1月15日

先進地から学ぶ

横須賀市議会
実行計画について

神奈川県横須賀市



▼市民に求められている施策は
何なのかを常に意識し続ける
ことの重要性を認識した。各
会派・無党派議員それぞれが
ら提言される多岐にわたる
テーマがそれを表している
と感じた。
▼全議員参加のもと、テーマ選
定から条例制定までに関する
取組は参考になると思った。

視察を終えて

政策形成能力を
高める活動
会派を超えて議会と
して行政課題の合意形
成に努め、その課題の
選定から評価、検証ま
での一連の仕組みを構
築し、いわゆる政策形
成サイクルが確立され
ていた。条例制定や政
策提案などの実績を積
み上げている。

議会の主な動き

1月

- 7日 広報分科会
- 8日 厚生常任委員会協議会
- 産業建設常任委員会協議会
- 10日 大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 14日 議会改革推進会議行政視察（～15日、神奈川県横須賀市）【P15】
- 17日 総務文教常任委員会
- 23日 高校生議会だよりモニター意見交換会【P15】
- 24日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会（議案説明会、行政課題説明会）
- 30日 市議会1月臨時会【P4】
- 大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 31日 秋田県市議会議長会定例会（秋田市）

2月

- 1日 厚木市制施行70周年記念式典（～2日、神奈川県厚木市）
- 4日 議会におけるDX推進に向けた研修会
- 6日 市議会議員共済会 第129回代議員会（東京都）、福井県大野市議会行政視察受け入れ、議会改革推進会議、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 7日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
- 12日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会（議案説明会、行政課題説明会）
- 15日 厚木市議会・那珂市議会友好都市交流（～16日）
- 17日 県南市町村議会議長連絡協議会（湯沢市）
- 18日 市議会3月定例会（～3月19日）【P2～14】
- 26日 広報分科会
- 28日 議会運営委員会

3月

- 3日 全員協議会（議案説明会・行政課題説明会）、議会運営委員会、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 6日 総務文教・厚生・産業建設常任委員会協議会
- 11日 広報分科会
- 12日 正副委員長会議、議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 19日 全員協議会（行政課題説明会）、会派代表者会議、議会運営委員会、広報広聴委員会
- 大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 22日 湯沢市制施行20周年記念式典（湯沢市）
- 25日 議会改革推進会議、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 27日 広報分科会

青春 キャンパス色



平成高校女子バレーボール部は、1年生4名、2年生3名の計7名で活動しています。人数の少ないチームですが、学年関係なくみんなで支え合いながら明るく練習に取り組んでいます。楽しくバレーをするためにお互い良いプレーを褒め合ったり、ミスをサポートし合ったりして失敗を恐れず挑戦できる雰囲気作りを心がけています。

練習では基本の大切さを重視し、レセプション、スパイクなどの基礎技術の向上に繰り返し取り組んでいます。また基礎練習で身につけたことをミニゲームで確認し、チームとしての成長を測るとともに楽しみながら絆を深めています。さらに練習後は体幹トレーニングを行い、バレーに必要な

体力や身体のバランスを高めるために努力しています。

応援してくださる方々や明るく指導してくださる先生のお陰で日々バレーを楽しむことができます。周囲への感謝の気持ちを忘れず、さらなる成長を目指して頑張ります。

平成高等学校女子バレーボール部 主将 いずみや 泉谷 にご



秋田県立平成高等学校女子バレーボール部の皆さん

横手かまくらFMで市議会情報を知ろう!

横手市議会では、市議会の活動や取組を議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて! 横手市議会」を放送しています。議員が交代で出演し、市議会の活動や取組を自らの声で紹介するもので、市民参加を意識した番組づくりに力を入れています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送するとともに、定例会最終日や臨時会当日の夕方には、会議の結果もお知らせしています。ぜひお聴きください。

今後の放送予定

5/12 令和6年度トピックス
5/26 行政視察報告(総務文教常任委員会)

これまでの放送内容は
こちらから
お聴きください



好評放送中



横手かまくらFM 77.4MHz

もっと教えて! 横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～



令和7年3月24日放送
「市議会のハテナ～議員特別研修とは～」

分かりにくい
議会用語などは
こちらで
解説しています



分かりにくい議会用語が
他にもございましたら、
議会事務局までお知らせ
願います。

横手市議会公式
Facebookページ



タイムリーに情報発信中
ページへの いいね!
お待ちしています。

編集後記

市制施行20周年を迎える本年、より良い紙面づくりに、一般市民と高校生モニターから貴重なご意見をいただき進化する広報を作るのはとても楽しく、自己研鑽にもつながっています。「少しでも読みやすい」「読みたくなる」議会だよりを目指し、編集委員チームで期待に応えたいと思っています。(土田 百合子)

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長	宮川 拓也	副分科会長	林 一輝
委員	加藤 勝義		寿松木 孝
	加藤 雄太		土田百合子